



はじめに

本書の目的「治療プランニングと装置の設計」では歯科臨床にデジタルアライナーが導入したことの影響を意味、適応症、治療プランの立て方、実際の設計手順など歯科医師が知っておきたい事柄について解説した。

Part 2「仮想症例で学ぶ治療シナリオ」では、アライナーによる矯正治療の手順を治療例を用いたシナリオをベースに縦コンテ形式で解説する。

Table of Contents

Part 2 仮想症例で学ぶ治療シナリオ

Section 5 治療シナリオ

仮想症例01 II級1類・叢生・過大なOJとOB

仮想症例02 III級・叢生・非抜歯

仮想症例03 I級・叢生・埋伏大白歯・ハイブリッド治療

仮想症例04 機能性反対咬合・叢生・正中のずれ・青年期

仮想症例05 II級1類・過大なOJとOB・正中離開

仮想症例06 II級2類・下顎骨の後退・顎整形手術

仮想症例07 II級1類・過大なOJ・叢生 下顎切歯の先天欠

